



これは何でしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

■しめきり 9月9日(金)

■あて先 〒783 南州市大
浦甲二二〇一 南州市企画課
親子クイズ係

■賞品 正解者の中から抽選で
5人の方に図書券を進呈
◎第2回親子クイズの答えは
稲穂でした。

第2回当選者発表(敬称略)

- (応募総数31通)
- 前田智栄 (大浦)
- 中村久江 (前浜)
- 山田 晃 (稲生)
- 杉村洋平 (片山)
- 岩原 仁 (岡豊)

☆(★)☆ 思い出がいっぱい

◆田舎のおじいさんの田んぼで
子供のころよく遊びました。稲
刈りが終わったあとの残った根
元のところをさくさく踏むのが
好きでした。もちろん稲刈りの
お手伝いもしましたヨ!

◆中学生の時、近所の農家へパ
イトで稲刈りをしに行きました。
暑いので、太陽がのぼるまでに
刈り終わるように、朝の3時4
時に起きて行ったことでした。

◆私たちが子供のころ、田んぼ
に朝早く行って、七夕さまに朝
露を取って来て、短冊に筆で書
いた思い出があります。

◆このころ、ワラグロを見るこ
とがなくなりました。子供のこ
ろはよく登って遊びました。果
外では形が違うワラグロに意外
な気がしました。



みんなの

広場

clubクラブ



北陵中女子 バレーボール部

夏の体育館はまるでサウナのよう。そんな中
で、練習を続ける北陵中バレーボール部。「す
ごく真面目に練習に取り組みます。先生がいて
もいなくても変わりませんよ。バレーを通して
精神的な強さ、友情や規律を身につけてほしい
ですね」と豊永信子先生が言うように、空いた
時間があれば、OBや3年生が指導に来てくれ
るなどチームワークも抜群。
3月から新チームのキャプテンとなった清洲麻
耶さんは「練習するのは楽しい。1つのボール
をみんなで思いやるのがいい。先輩以上の成
績を獲ろうと頑張っています」とバレーボール
に対する姿勢を語ってくれました。新チームの
メンバー15人、元気いっぱい真剣にバレーボ
ールに打ち込んでいます。

純心お馬の物語は誰でも耳にしたことがあるで
しょう。そのお馬のあまり知られていない部分を、
兵田信男(立田)さんに紹介してもらいます。

はりまや橋物語



お馬は、竹林寺の僧たちの衣類の洗濯を生業として
いた母の仕事を手伝い、寺に出入りしているうちに、
藤野の修業僧慶全と相思相愛の仲になった。

慶全の師である純信もお馬に引かれた。やがてお馬は
純信とならび、達達を築きむようになる。純信三十七
歳、お馬十七歳だったから、親子ほど年齢に差があった。
振られた慶全は、恋敵が己の師であるだけに悩んだ。
考えた末に、なげなしの財布をはたいてかさしを買っ
た。お馬の歡心をと、なんと人通りの多いはりまや橋
で、坊主が小間物屋でかさしを盗ったから、人目につかぬは
ずがない。これもあつうに、竹林寺の檀家の人が見て寺

に知らせた。長江に行き、お馬にかんざしを渡すも、色
よい返事はもらえなかった。寺に帰った彼を持っていた
のは「遺書」で、寺を迫られた。慶全はついてなかった。
「おかしなことなはりまや橋で」
坊主がかんざし買おうを見た
「さあ、さういふ節で、このやうな歌詞が歌われてお城下に広が
る。土佐の高知のに改められたのはずっと後である。
純信とお馬の仲も寺内に知れ渡る。清浄な場所だけに
彼も身を置く処がなく、安政二年(一八五五)五月十七
日の夜、二人は手に手をとって駆け落ちをするが早平町
でつかまってしまった。狭口番所破りと不義、山坊の空
海真筆「愛染明王」横領費消の罪で面縛の刑と、純信は
国外追放、お馬も名高山以西に追放とされた。
「面縛の刑」とは、人通りの多い道端にむしろを敷き、
腰縄つけた罪人を正座させて、見せしめる。つまりさら
しらのにする。刑のこと。
二人はお城下の松ヶ鼻、山田橋、思案橋の三箇所まで三

日間さらされた後で、純信は他国へ、お馬も須崎の池の
内に追われた。農家の手伝いをする彼女の美しさに引か
れる若者がずいぶんいたが、駆け落ちと聞所破りの前科
に言い寄る者はいない。でも土地の大王、寺崎米之助が
求婚。彼は優しく、心も広く、本心としての技術も優れ
ていた。乱町に新居を建て、お馬を迎えた。悲恋に泣い
た彼女も、ここ須崎で良き伴侶を得られたのである。
長男の徳太郎が生まれ、虎松、菊、有美と二男二女の
母となり、子育てに忙しい日々をおくった。子どもの成
長は早く、徳太郎は父の職を継いで、それも陸軍省の御
用大工となり上京する。彼の拓きでお馬一家も、明治十
八年(一八八五)東京へ、ひとまず滝野川(現東京都北
区)に落ち着き、その後豊島に家を構えて移り住む。
次男の虎松は滝野川役場に勤め、菊も大工の頭領と結
婚して豊島に住む。有美も人々の履物店に嫁いだ。娘の
菊が洗濯の家で汁粉屋を始めると、お馬も夫に豊島の家
を煙草屋に改造してもらい、夫は開通(シヤモ)を伺い

開通場を歩くが、帰らぬ人となる。
寂しさをまぎらすお馬は段々酒が強くなる。酒癖
が悪かったと孫の操さんから聞いた。加えて四人の子
が孫の顔を見せたくない寂しさもあったらう。
やっと次男の虎松(渋谷輪と改名)の嫁つが好婦。
これを知ったお馬は次男の家に移り住み、初孫の操を抱
く。操が生まれた翌年(明治三十六年)十二月十五日に
の家で母らぬ人となったので、長男浩の誕生を知らない。
お馬の墓所は豊島にある「西福寺」で、成名「円頓妙
蓮信女」は渋谷家の墓誌の筆頭に刻まれている。お馬の
ことを知るにはまず身内からと思った私は、岩崎合子さ
んという方の口添えで、婆さんの家へ宮内家の吉さんと
交流できるようにした。平成三年に持病のあるという
操さんを見舞ったときには、「私、浜田さん気に入っちゃ
った」とうれい言葉。
その操さんも亡くなられ、祖母のそばで眠っている。
私は今でもお孫の一水さんとの交流を続けている。

われらサークル仲間



今回は南国市一般軟式早起き野球大
会で優勝の「南国三和チーム」を紹介
します。

毎朝5時30分に試合開始の南国の早起き野
球。今年は30チームが参加。早朝とあって、
まだ肌寒い4月中旬から大会が始まります。
この南国で行われるほとんどの大会で、毎年
上位の成績を収めている「南国三和チーム」は、
壮年大会もあわせると、過去5回の優勝経験を
持つ強豪チームです。
7年前、野球を通じて地域とのかかわりを持
とう、さらに部員どうしの親睦や地域のスポ
ーツの発展を願って結成された同チームは、現在
部員数が27人の大世帯となっています。
結成以来、チームの監督を務める「野村俊弘
さん」によると、サッカー人気におされ気味の
なか、とにかく野球を楽しむ部員が多いので、
チームワークが良く、いつも和気あいあい
で、雰囲気は抜群。野球の楽しさを肌で感じ、試合
後のビールがまた格別とのこと。